

2012年度 15期生(新3年生)用 科目選択シラバス

- (1)進路や卒業後に必要な知識・能力をしっかりと考えた上で、新3年生の**24単位分**の科目を選択する。
- (2)「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」のいずれか1科目を2年生で履修していない者は3年生で必ず「日本史A」または「地理A」を選択し、履修すること。
- (3)以下の科目は、履修条件があるので、選択する際に注意すること。
 ・「数学Ⅲ」、「数学C」 …2年生で「数学Ⅱ理」「数学B理」を履修した者に限る。
 ・「数学錬成D」、「数学錬成E」 …2年生で「数学Ⅱ」「数学B」を履修した者に限る。
 ・「物理Ⅱ」「物理演習」 …2年生で「物理Ⅰ」を履修した者に限る。
 ・「化学Ⅱ」「化学演習」、「生物Ⅱ」「生物演習」、「地学Ⅱ」「地学演習」についても同様である。
- (4)3年生で芸術科の科目を選択する場合、1,2年生で選択したことのない芸術(音楽・美術・書道)を希望する場合は、事前に担当者のところへ相談に行くこと。
- (5)3年の「総合的な学習の時間」では、課題研究を行う。生徒個々の主体的な取り組みが要求される科目であり、自分の最も興味深い分野や、将来の進路に有効な科目を選択すること。
- (6)2年生で履修した科目と同一名の科目は、3年生では選択できない。ただし、以下の科目は2年連続して選択することができる。
 ・「現代文」および「古典」
 ・「継続履修可」と書かれている科目
- (7)2年・3年合同科目は、3年生の選択を優先する。
- (8)希望者が10名未満の講座は、原則として開講しない。

■今後の予定

- 7/21(木) 選択科目案内(シラバス)の配布・説明
 夏休み シラバスを読み、自分の進路希望や興味・関心に基づき、必要な科目を考える。
 8/23(火) 夏休み課題「科目選択につなぐ大学入試科目調べ」の提出。
 ※ここで選択した科目が、そのまま本調査時に選択できるとは限りません。
- 9月下旬 群表の提示。生徒諸君は、各群開講科目から一つずつ科目を選択する。
 10月 中間調査・・・閉講予定科目の提示
 11月 最終調査→抽選、閉講科目の決定→調整後、来年度選択科目の決定

■定員について

40人が原則だが、やむを得ない場合がある。(設備、教員の人数の関係による。)

1講座あたりの定員が40名以下の科目

科目名	定員	科目名	定員	科目名	定員
国語表現	25人程度	世界の歴史と地域を学ぶ	25人	スポーツⅢ	20人
音楽鑑賞	30人	和楽器	14人	作曲編曲演習	10人
美術Ⅲ	20人	素描	14人	生活造形	12人
美術造形	24人	総合芸術	16人	楽しい書道Ⅲ	28人
楽しい書道A	28人	楽しい書道B	28人	映画で英語	30人
上級英作文	15人	点字入門	20人	All English Reading	20人
World Studies	20人	リビングデザイン	21人	服飾と手芸	21人
フードデザイン	24人	アルゴリズム	20人	カウンセリング	23人

《生命科学》・・・以下の7つを『生命科学』とし、前期から1科目・後期から1科目を選択する

(前)自然史探究	20人	(前)スポーツ心理学	40人	(前)カイロプラクティック	20人
(後)バリアフリー	20人	(後)医薬学	20人	(後)人間の科学	20人
(後)生物工学	20人				

質問・相談は、担任もしくは教科、教務、進路の先生まで。

24年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
15期 3年	世界史A	Reading	体育	課題研究	L H R	選択科目(24単位) A~F, J~O 群																											

2 年 組 番

()

選択科目一覧

1. 国語	単位数	
11 国語表現Ⅱ	②	3年
12 現代文	②	3年
13 私達が立っている場所	②	3年
14 古典(3年)	②	3年
15 古文講読	②	3年
16 漢文講読	②	3年
17 現代評論文講読	②	3年

2. 地理・歴史、公民		
21 世界の歴史と地域を学ぶ	②	2・3年合同
22 日本史A	②	3年
23 日本文化史	②	3年
24 地理A	②	3年
25 倫理	②	3年
26 政治・経済	②	3年

3. 数学		
31 数学Ⅲ	④	3年
32 数学C	②	3年
33 数学錬成B	②	3年
34 数学錬成D	②	3年
35 数学錬成E	②	3年

4. 理科		
41 物理Ⅱ	④	3年
42 物理演習	②	3年
43 化学Ⅱ	④	3年
44 化学演習	②	3年
45 生物Ⅱ	④	3年
46 生物演習	②	3年
47 地学Ⅱ	②	3年
48 地学演習	②	3年
49 環境科学	②	3年

5. 体育			
51 スポーツⅠ	②	2・3年合同	継続履修可
52 スポーツⅡ	②	2・3年合同	継続履修可
53 スポーツⅢ(柔道)	②	2・3年合同	継続履修可
54 スポーツⅢ(剣道)	②	2・3年合同	継続履修可
55 ダンス	②	2・3年合同	継続履修可
56 ライフスポーツ	②	2・3年合同	継続履修可

6. 芸術			
61 音楽Ⅱ	②	2・3年合同	
62 音楽Ⅲ	②	3年	
63 音楽鑑賞法演習	②	3年	
64 声楽	②	2・3年合同	継続履修可
65 器楽(ピアノ奏法中級上級)②	②	2・3年合同	継続履修可
66 作曲・編曲演習	②	3年	
67 和楽器奏法研究	②	3年	
68 美術Ⅲ(色彩表現)	④	3年	
69 美術造形演習	②	2・3年合同	
60 素描	④	3年	
84 生活造形(土に親しむ)	②	3年	
85 総合芸術	②	3年	
86 楽しい書道Ⅲ	②	3年	
87 楽しい書道A	②	3年	
88 楽しい書道B	②	3年	

7. 英語・外国語・国際教養			
71 英文法	②	3年	
72 英語演習	②	3年	
73 映画で英語	②	3年	
74 発展読解演習	②	3年	
75 上級英作文	②	3年	
76 韓国朝鮮語文化研究	②	2・3年合同	
77 中国語文化研究	②	2・3年合同	
78 イタリア語文化研究	②	2・3年合同	
79 All English Reading	②	3年	
70 World Studies	②	2・3年合同	

8. 家庭		
81 リビングデザイン	②	3年
82 服飾と手芸	②	3年(2・3年合同)
83 フードデザイン	②	3年

9. 情報		
91 アルゴリズム	②	3年

10. 生命科学・工学		
92 看護・福祉	②	2・3年合同
93 カウンセリング入門	①	2・3年合同
94 点字入門	②	3年 継続履修可

95 生命科学	②	3年
以下の7つを『生命科学』とし、前期から1科目・後期から1科目を選択		
01 (前)スポーツ心理学		
02 (前)自然史探究		
03 (前)カイロプラクティック		
04 (後)バリアフリー・ライフスタイル論		
05 (後)医薬学入門		
06 (後)人間の科学		
07 (後)生物工学		

※科目名の前の番号は、選択科目番号です。
マークシートへの記入時に使用します。

1.国語 選択科目

11 国語表現Ⅱ ② 3年

目標	人文科学・社会科学・自然科学など、現代の知のありようを知り、問題意識を持って物事を捉え、自己の意見を持ち、それを適切かつ効果的に表現する能力を育てる。
内容	①現代生活と接続した「読む」力、「書く」力を養う。幅広いジャンルの文章を読み、その内容を理解することを基礎に置きながら自分の意見を持ち、その意見をまとめた文章として表現していく。 ②方法を意識して「話す」「聞く」力を養う。さまざまな方法を用いながら、話すこと、聞くことを高めあう学習を通して、話し手と聞き手の相互理解、納得をどのように作っていくかを模索する。
対象	①知識、理解を基礎として文章を作る力をつけたい人。 ②感じたこと、考えたことを方法を意識して表現する力が必要だと考えている人。
評価	提出物と出席状況を重視して評価する。

12 現代文 ② 3年

目標	言葉に対する感覚を磨き、文章を読み深める能力を養うと同時に、自己の興味・関心の幅を広げ、視点を高めていく。
内容	1年次の『国語総合』の現代文分野、2年次の『現代文』で学習した作品より、さらに読む力を要求される小説や評論に取り組む。考えること、表現することに重きを置く。
対象	読む力、考える力、表現する力を育てたいという意欲を持っている人。
評価	定期考査を重視し、授業態度・出席状況・提出物を考慮して評価する。
備考	教科書は2年で使用している「現代文」を継続して用いる。

13 私達が立っている場所(錬成現代文) ② 3年

目標	現代の諸相に深く関わる作品を読んでいくことにより、ことばを鍛えることによって現代社会に生きていく自分自身を深く見つめ、社会生活の足場をつくっていくことを目標とします。将来のより高まった言葉の生活にダイレクトにつながっていく、そんな現代文の授業です。
内容	私達が生きている社会はどんな社会でしょうか。私達はその社会の中をどう生きていくのでしょうか。 授業では現代のありように迫った作品を多く取り上げ、それらを読み深めていくことを通して私達の現在を見つめています。ことばで物事を「つかむ」。そして将来を見通してことばで現在を「変える」。そんなことばの使い手となることこの授業は資していきたいと考えています。授業の方法は、講義に加えて、グループ発表、スピーチなども視野に入れています。着実に理解や表現の力をつけていく、もっともふさわしい方法をとる予定です。受講者による授業診断も実施します。
対象	①現代文を広く深く学習したい人。 使われている語彙や表現に注目することによって、読み深める力を養います。また、読みとつたことや考えたことを伝えることも重視します。 ②センター試験、二次入試、私大入試などで高い得点を目指している人。現代文の授業の上級編とも言える内容になると思われます。 多様化する入試に対応することばの伸張を目指します。 ③総合学科の特徴的な科目をとっておきたい人。 「私達が立っている場所」は、総合学科だから開講できる科目です。
評価	基本として定期テストを実施する予定です。それは、理解を確かめるためでもあり、自分の考えを固めて表現するためでもあります。また、発表やレポートでの評価も加えていきます。

14 古典(3年) ② 3年

目標	古文・漢文を正確に読む力、理解する力をつけ、鑑賞する姿勢を育て、古典に対する理解を深める。
内容	優れた古文・漢文作品を学習する。文法事項や言葉の意味、時代背景を確認しながら古典作品を深く読み、鑑賞し、古典の世界を広げていく。古文・漢文とも多くの作品を学習していく予定。
対象	古文と漢文をどちらも学習したい人。
評価	定期考査を重視し、授業態度・出席状況・提出物を考慮して評価する。

15 古文講読 ② 3年

目標	古文の知識を身につけ、古文を正確に読む力、理解する力を養い、鑑賞する姿勢を育てる。
内容	古文に限定。優れた古文作品を精選して学習していく。多くの作品を読むというよりは、一つの作品を深く丁寧に読んで鑑賞していくという授業である。
対象	古文をしっかりと学習したい人。
評価	定期考査を重視し、授業態度・出席状況・提出物を考慮して評価する。

16 漢文講読 ② 3年

目標	優れた漢文の作品に出会い、読解力・鑑賞力を高め、わが国の文化と深い関わりを持つ中国文化に対する理解を深める。
内容	漢文に限定。漢文を読むために必要な知識を整理し、作品を味わうことに重点を置き、それぞれの作品を深く読んでいくことで、歴史・文化を考える。
対象	漢文をしっかりと学習したい人
評価	定期考査を重視し、授業態度・出席状況・提出物を考慮して評価する。

17 現代評論文講読 ② 3年

目標	現代文読解には「幅」と「奥行」が必要です。「幅」とは主に感性や想像力により作品を味わう力のことで、対象となるのは詩、短歌、俳句、小説、随想などの文学作品です。一方「奥行」とは理性や論理性により分析的または総合的に主張されていることを理解する力のことです。対象は「評論」になります。現代社会は「幅」がどんどん広がっているのに対し「奥行き」がなくなっているように思われます。単純な二者択一や性急に結論を求める傾向が強くなっているように感じませんか。時代を形成していく思潮、哲学的志向、科学的分析など、物事の本質をしっかりと捉える「奥行き」を自分のものにしてほしいと思います。
内容	明治書院『現代評論文選』を副教材にして ①評論文の基本的構成・展開を理解する。 ②人間論、人生論、生死観の普遍的テーマを基礎とする。 ① 代性のある個別のテーマ(環境論、教育論、科学技術論等)を学ぶことを主眼とします。年間数篇のレポートを書いてもらいます。
対象	①作文をいとわない人 ②評論文に興味があり、かつ読解力を深めたい人 ③現代文の2単位だけでは内容的に不足だと感じている人 以上の条件を全て満たす人に選択してもらいたいと思います。
評価	定期考査・レポートを中心に、授業への取り組み、出席状況を考慮して評価します。

2.地理・歴史・公民 選択科目

21 世界の歴史と地域を学ぶ ② 3年

目標	世界の歴史や地理について、自ら研究テーマを設定し、研究の手法なども学びながら、発表を通じて理解を深める。
内容	前半では、図書館見学や地域のフィールドワーク実習などを通じて、自ら資料を集め発表する素養を育成する。後半では、世界各地の歴史、地理、文化などについて研究発表を行い、できればグループ討論も行う。また、適宜、ビジュアルな資料を見る時間も設けたい。
対象	地域や世界について関心を持ち、自分で調査研究に取り組んでみたい人。
評価	授業や研究発表でのレポート、各種提出物、研究発表の内容、出席点など
備考	定員は25名(見学やフィールドワークを行うため)

22 日本史A ② 3年

目標	近・現代で日本が歩んだ歴史を学び、社会人としての知識教養を身につけ、未来を主体的に生きる資質を養う。
内容	<p>明治維新：欧米のアジア侵略と日本社会の動向開国、そして統一国家形成と諸制度の改革がいかに遂行されていったか。</p> <p>自由民権運動：その展開と発展、立憲体制成立への過程を考える。</p> <p>二つの対外戦争：日清・日露戦争、資本主義の発展と社会運動の発生などを国際関係とともに考察する。</p> <p>二つの世界大戦：第一次大戦と中国侵略がどのように進められたか。政党政治の挫折と軍部の台頭までのような過程をたどったか。</p> <p>日中戦争、アジア太平洋戦争がいかに遂行されたか。戦時下の社会を考えてみる。</p> <p>現代の日本：敗戦と占領がどのように行われたか。憲法制定による新しい社会の実現と経済再建の有様や新しい国際経済秩序の中での日本の役割を考える。</p> <p>これらの内容を中心に学習をすすめる。</p> <p>独自の伝統をもつ日本の歴史は、近現代に入ると急速に国際社会の中での局面が展開していく。19世紀に立ち返り、明治維新や日清・日露戦争などがどのような国際関係や国内情勢の中で起こり、そこに形成された近代日本がいかなる発展をどけたのか、そしてどのように敗戦を向かえ、また廃墟からいかに立ち上がって発展してきたか、その中で日本はアジアや世界の国々に対しどのようにふるまってきたのか、これからどう歩むべきか、等を考えていきたい。</p>
対象	各系列。日本史センター試験や私学大学受験を考えている人は、必ず選択すること。
評価	授業態度の状況、出席状況、考査の成績、レポートなどについて、その意欲・関心・態度などを総合的に判断する。

23 日本文化史 ② 3年

目標	歴史的背景を学びながら、日本文化がどのように発展してきたか、を考察し、詳細に学習し、大学入試に必要な知識と教養学力を身につける。
内容	<p>1.古代の文化：仏教文化の始まり</p> <p>2.平安朝の文化：新仏教・浄土教の発展、文化の国風化</p> <p>3.鎌倉文化：新仏教の成立、中世文学のおこり</p> <p>4.室町文化：現代につながる文化</p> <p>5.桃山文化：天下人の文化、南蛮文化</p> <p>6.江戸文化：安定期の文化、上方の文化、江戸の文化</p> <p>7.明治文化：新思想、文明開化、科学の発達、近代文学</p> <p>8.大正文化：デモクラシーの世と市民文化</p> <p>9.昭和 culture：戦時下の文化、戦後の文化、若者の文化</p> <p>これらの文化を国際関係・時代背景を考慮しつつ詳しく学習する。副教材である「図説」や写真などを毎時間使用し、個々の作品を確認していく。かなり詳しい内容になるのでそのつもりで受講すること。</p> <p>また演習プリントを配布(宿題)し、全時代の問題を解いていく。</p>
対象	各系列。歴史に興味関心のある生徒。2年で「日本史B」を履修しておいたほうがよい。
評価	授業態度の状況、出席状況、考査の成績、レポートなどについて、その意欲・関心・態度などを総合的に判断する。
備考	配布する演習プリント提出も評価に入れます。
備考	日本史で大学受験を考えている生徒は、選択したほうがよい。

24 地理A ② 3年

目標	世界の諸地域を学習し、現代の世界が抱える様々な問題について考え、グローバルな視野を形成することを目指す。
内容	世界の諸地域の様子を学習する。 地域調査実習を行う予定。インターネットなどを利用した情報収集なども行う。
対象	2年で地理Bを学習し、センター入試を地理A、Bで受験を考えている生徒は受講してください。 また、現代の社会や国際問題などに関心のある人も受講するとよいともいます。
評価	定期考査、レポート、提出物等を総合的に考慮する。

25 倫理 ② 3年

目標	人間とは何か。人間がいかに生きるべきか、人間はどうあるべきか、といった普遍的問いに対する先人の思想を学び、自らの生き方の指針を定める。
内容	1) 青年期の意義と課題 2) 古代から中世のギリシア・中国の源流思想や世界三大宗教 3) ルネサンス期から近代民主社会におけるヨーロッパの思想や宗教 4) 日本の思想の源流とその発展 5) 生命・環境・平和など現代社会の諸問題と課題を考える思想 の5項目について学習する。
対象	「人間」に興味がある人。「思いめぐらす」ことが好きな人。センター入試を「倫理」で受験する予定の人。
評価	定期考査素点・小論文等こ、出席状況・提出物等を加味し評価する。

26 政治・経済 ② 3年

目標	現代社会における政治、経済、国際社会における基礎となる知識を学習し、視野を広げ、現代の課題を理解し将来を考える力を養う。
内容	1年で学んだ「現代社会」の知識をベースに、センター試験の問題に対応できるだけの知識を身につける。問題演習も行っていく。
対象	各系列。「政治・経済」で受験する人、公務員試験を考えている人、法・経済部への進学を考えている人に勧める。
評価	定期考査と平常点の割合を8:2とする。平常点は、提出物・出席点・態度などから評価する。

3.数学 選択科目

31 数学Ⅲ ④ 3年

目標	「関数」「極限」「微分法」「積分法」などを学習し、大学入試レベルの問題を解けるようにする
内容	「数列や関数の極限」「微分とその応用」「積分とその応用」を教科書中心に、問題集、参考書を使って学習し、後半は大学入試問題を解きます。
対象	理系の大学を受験する者。
評価	定期考査と平常点(小テスト、提出物など)
備考	2年次に数学Ⅱ理・数学B理を履修した者に限る。

32 数学C ② 3年

目標	「行列」「いろいろな曲線」の2分野について学習し、大学入試レベルの問題を解けるようにする。
内容	「行列」「いろいろな曲線」などを教科書中心に問題集、参考書を使って学習し、後半は大学入試問題を解きます。
対象	理系の大学を受験する者。
評価	定期考査と平常点(小テスト、提出物など)。
備考	2年次に数学Ⅱ理・数学B理を履修した者に限る。

33 数学錬成B ② 3年

目標	数学Ⅰ・数学Aの内容について、センター試験レベルの問題を解けるようにする。
内容	数学Ⅰ・数学Aの内容について、問題集を使ってセンター試験レベルの問題の演習を行う。
対象	文系大学および看護医療系の学校を受験する者。
評価	定期考査と平常点(小テスト、提出物など)。

34 数学錬成D ② 3年

目標	数学Ⅱ・数学Bの内容について、センター試験レベルの問題を解けるようにする。
内容	数学Ⅱ 数学Bの内容について、問題集を使って、センター試験レベルの問題の演習を行う。
対象	文系大学および看護医療系の学校を受験する者。
評価	定期考査と平常点(小テスト、提出物など)。
備考	2年次に、数学Ⅱ・数学Bを履修した者に限る。

35 数学錬成E ② 3年

目標	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの内容について、理系大学および国公立大学2次試験レベルの問題を解けるようにする。
内容	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの内容について、問題集を使って、理系大学および国公立大学2次試験レベルの問題の演習を行う。
対象	理系大学および国公立大学2次試験を数学で受験する者。
評価	定期考査と平常点(小テスト、提出物など)。
備考	2年次に、数学Ⅱ・数学Bを履修した者に限る。

4.理科 選択科目

41 物理Ⅱ ④ 3年

目標	物理Ⅰの内容を補充・深化させる。理系大学入試レベルの問題を解際の基礎力を養う。
内容	物理Ⅰの内容に則して言えば、主として次のことを学ぶ。 ・力学では、運動の種類として放物運動や円運動・単振動、力の種類として万有引力など。 ・電気では、直流回路や電流が磁場を作り出すこと。 ・エネルギーでは、気体分子の熱運動など。 ・電子と原子では、光の粒子性や水素原子の仕組みなど。
対象	物理Ⅱを学習したい人。
評価	定期考査、平常点(小テスト等)。
備考	物理Ⅰを履修済みの人

42 物理演習 ② 3年

目標	物理Ⅰの内容を中心とし、問題演習を通してより深く学習し、受験に対応した学力を身につける。
内容	物理Ⅰ全般の内容を再度深く学習する。
対象	理工系・生命科学系の人、またはセンター入試で物理Ⅰを選択する人。
評価	定期考査、平常点(小テスト等)。
備考	物理Ⅰを履修済みの人

43 化学Ⅱ ④ 3年

目標	化学Ⅰの内容を基礎とし、理論的により高度な内容を学習する。科学的な思考力、判断力、表現力を養いながら、実生活における生命・化学現象や化学物質の考察も行い、理系の大学入試に対応できる力を付けることを目指す。
内容	教科書に沿って次の内容を学習する。 1.物質の構成について…化学結合論・物質の状態変化・気体の性質・溶液の性質 2.反応速度と化学平衡について…反応速度論・化学平衡論(平衡移動と平衡定数) 3.実生活と物質について…食品の化学(糖・タンパク・脂質)・衣料の化学・材料の化学(高分子化学) 4.生命と物質について…生命体を構成する物質・生命体を維持する化学反応(酵素化学)・薬品の化学(医薬品と化学肥料)
対象	理数系の分野の進路を考えている人で、理学・工学・薬学・生命科学分野への大学進学を希望する人。
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)。
備考	化学Ⅰの履修を終えた人、2つの群に2単位ずつ分かれているが、必ず2つとも選択すること。

44 化学演習 ② 3年

目標	化学Ⅰの内容を中心の問題演習を通してより深く学び、大学入試センター試験に対応できる力を身に付ける。
内容	化学Ⅰの内容を復習しながら、入試問題集に沿って問題演習を行い、解答と解説を行う。
対象	大学入試(センター試験)に化学が必要な者。私大理系学部を受験する者。
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)。
備考	化学Ⅰの履修を終えた人。

45 生物Ⅱ ④ 3年

目標	生物分野に関しては、生物Ⅰと合わせて高校での内容を全て学習することになる。科学的な思考力、判断力、表現力を養いながら理系の大学入試に対応できる力や生物学の教養を身につける。
内容	教科書に沿って次の内容を学習する。 ・生物体に見られる様々な生命現象と物質の関わりについて、光合成や呼吸等の生物体内の代謝に関わる物質とその化学反応に関して ・生物の進化と分類に関して、生命誕生とその変遷を中心として、現存生物の多様性と系統について ・生物の集団に関して、生物の集団内の関係と生物と環境の関わりについて
対象	理数系列のうち特に、農・生命科学系への大学進学希望者は必要である。また、高校の生物分野の教養を身につけたい生徒
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)。
備考	生物Ⅰの履修を終えた者

46 生物演習 ② 3年

目標	生物Ⅰの内容を中心として、問題演習を通してさらに理解を深め、大学受験に対応できる学力や生物学の教養を身につける。
内容	生物Ⅰの内容を復習しながら、入試問題集に沿って問題の演習を通して、生物Ⅰの範囲の生物学の学習内容の理解を深める。 また、将来起こる現実の問題に対応できる応用力を身に付けるためにセンター試験の過去問題も含めた演習も行う。
対象	センター試験を含めた大学入試に生物が必要な生徒。生物Ⅰの範囲の生物学を教養としてしっかり身につけたい生徒
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)。
備考	生物Ⅰの履修を終えた者

47 地学Ⅱ ② 3年

目標	地学Ⅰで学習できなかった分野を補い、さらに地学Ⅰの発展的な内容を学習します。観察や観測を行いながら、その知識を身につけるとともに、地球や宇宙におけるさまざまな事象について、より深い理解を求めます。また、地学に関する最新の話題にも触れ、これからの人類に与えられた課題に取り組む大切さを学びます。
内容	教科書の内容+αの内容を観察や観測を織りまぜて学習します。 ①地球の探究(プレートの動きと地殻の変化、大地形の形成、日本列島の生い立ち、岩石鉱物の観察 など) ②地球表層の探究(重力とその働き、地磁気、気象の観測と大気現象、天気図の書き方と天気予報、気候変動 など) ③宇宙の探究(天体の観測、天体の距離と質量の求め方、銀河系の構造、宇宙の誕生と進化 など) ④野外観察実習(地質調査の手法、活断層の調査、太陽・月・惑星の観察など)
対象	地学分野に強い関心を持っている人。地学Ⅱで受験する人。
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)
備考	地学Ⅰを履修した人。

48 地学演習 ② 3年

目標	おもに地学Ⅰの内容について、大学入試レベル(センター試験程度)の問題が解けるように学習します。
内容	地学Ⅰの内容を中心に、問題集一冊を11月中にやり遂げます。 12月からはセンター試験の過去問題を中心に高得点を目指して学習します。授業は、問題演習と解説が中心となります。 放課後や休日など授業時間以外に講習を行い、学習を補うこともあります。 《目安の進度》 地球分野[4月～7月] 気象分野[8月～9月] 天文分野[10月～11月] 入試問題研究[12月～1月]
対象	センター試験を地学Ⅰで受験する人に限る。
評価	定期考査、平常点(提出物、小テスト等)。
備考	地学Ⅰを履修した人。

49 環境科学 ② 3年

目標	環境や環境問題に関する関心や知識を身に付け、人間活動と環境との関わりについての総合的に理解し、判断する力を養うと同時に環境の保全に配慮した働きかけができる力を身に付ける。
内容	環境問題について主に次のような内容について学習する。 ①地球環境問題として考えられる種々の問題の有機的つながりについて ②天然資源とエネルギーの問題について ③身近な環境問題について ④環境問題の要素について
対象	環境や環境問題に関心のある生徒。施設等の理由で、定員は20人程度までに限ります。
評価	小テスト、提出物、小論文等
備考	担当者により、上記内容のいずれかに重点が置かれる場合もある。

5.体育 選択科目

51 スポーツⅠ ② 2・3年合同

目標	採点競技及び測定競技の特性を理解し、これらのスポーツの高度な技能と審判法の習得を目指すとともに、技能を発揮して競技ができる能力と態度を養う。
内容	(1) 体操競技:マット運動 開脚座位前屈・フットサークルジャンプ各種ポーズ(正面、T、V)・前転(膝曲げ、膝伸び、開脚、閉脚)・後転(膝曲げ、膝伸び、開脚、閉脚)側転・倒立前転とび・自由演技7～10種目 (2) 陸上競技:①走(50m) ②(ハンドボール投げ) ③跳(走り幅跳び) ① 走 → スタート法(スタンディング、クラウチング) ・ジョギングから徐々にピッチを上げて加速 ・疾走の基本的なフォームの習得・記録測定 ② 投 → ボールの投げ方習得 ・ボールを持った肘をたかくする ・手首のスナップをきかせる ・ボールの回転は順回転・遠投距離の測定 ③ 跳 → 助走の練習 ・十分なスピード、踏み切り、空中フォームの練習 ・腕・足を伴った動作、着地の練習 ・両腕と足のバランス (3) 水泳競技 ・浮き身 平飛び込み 着衣泳 立ち泳ぎ 横泳ぎ けのび ・クロール 平泳ぎ 背泳ぎ 3分泳 タイム測定
対象	個人種目に興味・関心があり、積極的に取り組む人。実技科目
評価	・自主的、自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。 ・公正な態度で取り組んでいるか。 ・欠席、遅刻がなくマナーを守って活動しているか。
備考	定員40名。 継続履修可

52 スポーツⅡ ② 2・3年合同

目標	競技の特性を理解し、これらのスポーツの高度な技術と戦術を理解し、習得する事によってより高度なゲームができる能力を養う。 またそれぞれの競技規則を学び審判技能の習得を目指すとともに、協力と責任分担を明確にし自分たちでゲームを運営できる能力と態度を養う。
内容	(1)バスケットボール(2)ハンドボール(3)サッカー(4)ラグビー(5)バレーボール (6)テニス (7)卓球 (8)バドミントン (9)ソフトボール <u>但し、希望者が少ない種目については実施出来ない事もある。</u>
対象	興味・関心があり、積極的に取り組む人。実技科目。
評価	・各種目の技術と戦術を理解し、習得する努力をしているか。 ・それぞれの競技規則を学び審判技能を習得しているか。 ・協力し責任分担をして自分たちでゲームが運営できているか。 ・欠席、遅刻がなく、マナーを守って活動できているか。
備考	定員2・3年合わせて60名。後期は2年生10名以上とする。 継続履修可

53 スポーツⅢ(柔道)② 2・3年合同

目標	柔道の特性について理解し、高度な技能と審判法を習得するとともに、技能を発揮して試合ができる能力と態度を養う。
内容	◎ 礼法(座礼・立礼)及び、正座の仕方と立ち上がり方 ◎ 柔道着の着方とたたみ方及び、帯の結び方 ◎ 受け身(後ろ受け身・横受け身・前受け身・前回り受け身) ◎ 姿勢(自然本体・右自然体・左自然体・自護本体・右自護体・左自護体) ◎ 組み方・歩み方(すり足・継ぎ足・歩み足)、八方の崩し・作し掛け・体さばき ◎ 投技 手技…背負い投げ・一本背負い投・体落・肩車 腰技…大腰・払い腰・釣り込み腰・跳腰 足技…膝車・支釣込足・出足払・小内刈・大内刈・大外刈・内股 ◎ 固技 抑込技 袈裟固・崩袈裟固・肩固・上四方固・崩上四方固・横四方固・縦四方固 ◎ 絞技 並十字絞・逆十字絞・片十字絞・裸絞・送襟絞・片羽絞・三角絞・両手絞・突込絞 ◎ 関節技 腕がらみ・腕ひしぎ十字固・腕ひしぎ腹固・腕ひしぎ腕固 腕ひしぎ膝固・腕ひしぎ腋固 ◎ 技の練習法 打ち込み・約束稽古・乱取・試合 ◎ 審判法 1. 審判員としての心掛け 2. 技の評価 3. 反則の判断 4. 動作・発声・進行 5. 姿勢・態度・位置 6. 礼法(個人戦・団体戦) 7. 講道館柔道試合審判規定 8. 国際柔道連盟試合審判規定
対象	柔道に興味・関心があり、積極的に取り組む人。実技科目。
評価	・基本動作の理解度 ・受身の習熟度 ・投技及び固技の習熟度 ・乱取及び試合での積極性 ・試合審判規定の理解度及び審判方法の習熟度 ・安全への配慮 ・出席状況
備考	男女合わせて、20名。 継続履修可。

54 スポーツⅢ(剣道)② 2・3年合同

目標	剣道の基本となる技能や攻防技を習得し、技の積極的な活用の仕方を理解する。また、技能の程度に応じた練習や審判ができるようになる(健康・安全に留意し、伝統的な行動の仕方を学びながら互いに協力して、自発的、自主的に練習や審判などを行う能力、相手を尊重する態度や公正な態度を養う)
内容	※ 基本動作 1 構えと体さばき(自然体 中断の構え、足さばき) 2 打突の仕方と受け方(正面打ち、左右面打ち、小手打ち、突き) ※ 対人的技能 1 しかけ技 ① 二・三段の技(小手一面、面一面、突き一面、面一胴、突き一小手、小手一面一胴) ② 払い技(払い面、払い胴、払い小手、払い突き) ③ 出ばな技(出ばな面、出ばな小手) ④ 引き技(引き面、引き胴、引き小手) 2 応じ技 ① 抜き技(面抜き面、面抜き胴、面抜き小手、小手抜き面、小手抜き小手) ② すりあげ技(面すりあげ面、小手すりあげ面、突きすりあげ面、小手すりあげ小手、面すりあげ胴) ③ 打ち落とし技(胴打ち落とし面) ④ 返し技(面返し胴、面返し面) 3 日本剣道形 ※ 試合 1 試合の仕方 2 審判の仕方
対象	剣道に興味・関心があり、真剣かつ積極的な態度で取り組む人。実技科目。
評価	・自主的、自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。 ・相手の気持ちを考えて、技の構成ができていないか。 ・出席時の態度や、マナーを守ってこうどうできているか。
備考	定員 20名。 継続履修可。

55 ダンス ② 2・3年合同

目標	ダンスの特性について理解し、ダンスウォームアップを充実習得し、さらに高度な技能の習得を目指すとともに、仲間とのコミュニケーションを図りながら、創造的な表現などの能力と鑑賞力を養い作品創作と舞台での発表を目標とする。
内容	1. ダンスウォームアップ 心と体をほぐし、ダンス的ストレッチ、ビートリズムにのるステップ、エアロビクスなどの基礎トレーニングを図る。 2. 選択者全員による作品発表 ジャンルにとらわれない指定された作品を集団を意識して、全員で踊る。 高度な技術を習得し、連帯感を高めながら時間をかけて練習し、発表に取り組む。 3. グループでの創作発表 創作ダンス、モダンダンス、ヒップホップ、ジャズダンス、などグループで選択した音楽リズムにのって、工夫したオリジナルの動きを構成や演出を加えて発表する。
対象	音楽を使用しての身体表現に興味・関心を持ち、創造的な表現等の能力と鑑賞力を育てたい者。実技科目。
評価	・自主的、自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。 ・発表に向けて、内容・演出の工夫などができているか。 ・欠席、遅刻がなくマナーを守って活動しているか
備考	定員 40名。 継続履修可。

56 ライフスポーツ ② 2・3年合同

目標	生涯教育・スポーツを念頭に、運動する喜びや楽しさを実感し、協力して運動する態度を養うとともに、健康増進と体力の向上を図る。
内容	レクリエーション的なスポーツの理論と実践 1. ターゲットバードゴルフ 2. インディアカ 3. ソフトバレーボール 4. フリスビー(ゴルフ・アルティメット) 5. タッチフット 6. セパタクロー 7. キックベースボール 8. ゴルフ 9. その他…テニス・卓球・バドミントン・水泳・縄跳び・竹馬・一輪車・ジョギング ベタンクドッジボール・フットサル・ソフトラクロスなど
対象	生涯スポーツに対して興味・関心があり、自主的・自発的な学習に意欲的に取り組める者。実技科目。
評価	・自主的・自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。 ・班の全員が楽しめるように工夫し協力しているか。 ・欠席、遅刻がなく、マナーを守って活動できているか。
備考	定員 40名。 継続履修可。

6.芸術 選択科目

61音楽Ⅱ(アンサンブル)② 2・3年合同

目標	音楽する喜びを大切に、音楽Ⅰで学んだ基礎基本的な学習を更に発展させ、多様な音楽作品に対する理解力と表現力を養う。
内容	・歌唱表現研究…腹式呼吸法・発声法・歌詞研究・独唱・重唱・合唱 ・器楽表現研究…リコーダー・ギター・キーボード・鍵盤打楽器等の奏法研究・発表 ・ビデオDVD学習…教科書記載の楽曲やミュージカル、オペラ作品の鑑賞 ◎混声・同声3部唱、器楽実習、アンサンブル、自由演奏発表
対象	2年3年対象
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。授業内発表、鑑賞記録提出あり。

62 音楽Ⅲ ② 3年

目標	音楽する喜び(ムジチーレン)を大切に、音楽Ⅱで学んだ発展的な学習を更に深化・定着させ、多様な音楽作品に対する発表力と表現力を養う。
内容	・歌唱・器楽表現研究・独唱・重唱研究、混声四部合唱作品研究、弾き歌いの研究 ・器楽表現研究・管楽器、打楽器を用いたアンサンブル 等実習 ・鑑賞・教科書記載の映画、ミュージカル・オペラ作品の鑑賞
対象	新3年生が対象。1年時に音楽Ⅰを履修していることが望ましい。
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。授業内で発表あり。

63 音楽鑑賞法演習 ② 2・3年合同

目標	音楽の歴史的な流れをたどり、時代と音楽のかかわりを感じ取る。また世界各国の様々な音楽を聴き、地域性や文化、表現の違いを感じ取る。色々な演奏家、音楽家、アーティストの生涯と作品を知り、オペラ、バレエなどの舞台芸術作品、ミュージカル映画などに親しむ。
内容	音源、映像を用いて地球上の多様な音楽を聴き、普段聴いている音楽との違いを知る。芸術家の作品と生涯、舞台芸術、映画を自分なりにどう感じるかを考える。
対象	色々な音楽に興味、関心がある人。自分の感動を自分の文章で表現できる人。
評価	出席率・興味・関心・意欲・態度・小論文をあわせて評価します。(提出多し)。
備考	定員30名。2年生で音楽鑑賞法演習を選択した生徒は選択できません。

64 声楽 ② 2・3年合同

目標	声による表現を更に発展させる。
内容	・社会人講師による専門的なレッスンを展開する。・ランチタイムコンサート等、公開音楽会に出演し、度胸と実力をつける。 ・イタリア近代歌曲集演習 日本歌曲集演習・ポピュラーソング、ゴスペル、ミュージカルナンバーなど
対象	音楽Ⅰ・Ⅱまたは2年生で声楽を選択した生徒が望ましい。
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。
備考	継続履修可。曲によってはテキスト代実費必要。講師の都合により開講できない場合があります。

65 器楽(ピアノ奏法中級上級)② 2・3年合同

目標	・専門家のレッスンを継続的に受けて、ピアニストの卵になろう！
内容	現役ピアニストによる専門的なレッスンを展開する。ランチタイムコンサート等、公開音楽会に出演し、度胸と実力をつける。 ◎指導予定教材:ツェルニー40・50練習曲、バッハ平均律、スケールとアルペジオ、コルトー合理的な基礎練習、モシコフスキーエチュード、ショパンエチュード、モーツァルト・ベートーベンソナタ、ロマン派・近現代曲(ドビュッシー・邦人作品等)
対象	希望者多数の場合は面談による調整をします
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。
備考	継続履修可。テキスト代実費必要です。定員14名

66 作曲・編曲演習② 3年

目標	創作表現を重視し、自分の作品を創る。
内容	メロディー創作、ハーモニー付けの基礎応用を行う。基本的な和声進行、理論を学び、最終的にはオリジナル曲を作る。作品は実際に演奏し、可能な限り録音する。
対象	原則として音楽ⅠⅡ履修者に限る。調号、拍子、音階が理解できていること。
評価	出席率・表現意欲・授業態度を重視します。
備考	定員10名程度。講師の都合により開講できない場合があります。

67 和楽器奏法研究[三味線・箏・龍笛・笙奏法]] ② 3年

目標	・社会人講師による専門的な指導を受け、短期間で実技力を身につける。・成果はランチタイムコンサートや文化祭で発表する。
内容	・継続的に和楽器奏法にチャレンジする。・実技レッスンが主。・練習課題は抜粋して与える。
対象	・初心者大歓迎。・楽器は学校で用意します。
評価	・出席率・表現意欲・授業態度を重視します。
備考	講師の都合により開講できない場合があります。

68 美術Ⅲ(色彩表現)④ 3年

目標	美術Ⅰ・Ⅱの基礎・応用をさらに発展させ、大作制作や、より完成度の高い作品制作を目指す。美術Ⅰ・Ⅱよりさらに専門的な分野にも取り組み、自己表現力・鑑賞能力を高め美術を愛好する心を育てる。
内容	1学期はポスター、イラストなどジャンルを問わず、B1パネルのデザインの自由制作を行い高校展に出展。画材はアクリル絵の具以外のものも使用可(油絵は不可)2学期以降は、立体、絵画、版画など、さらに専門的なジャンルの作品制作に組み込む ★美術Ⅰ・Ⅱで購入済みのアクリル絵の具、油絵具セットを使用。持っていない人は要相談
対象	原則、美術Ⅰ・Ⅱを履修した人。または美術Ⅰ、美術Ⅱのどちらかを履修した人。 それ以外の人は要相談。
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価を行う。
備考	定員20名。教材費は3000円程度徴収。

69 美術造形演習 ② 2・3年合同

目標	石膏(または石)、針金、紙の異なる素材を使用し、彫刻、つなげる、立体構造、塗装等の技術を身につける。立体造形の基礎を学び、ものの構造、素材や道具の特徴・扱い方を身につけ、考える力、つくる力、造形センスを養う。
内容	石膏(または石)による彫刻、 モビール(吊るす立体) 塗装したオブジェ他(教材内容変更あり)
対象	美術で特に関心することが好きな人、 建築、店舗設計等に興味のある人、美術系進学希望者は必須
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価を行う。
備考	定員20名、2年と3年の連続履修は不可。教材費は3000円程度徴収。

60 素描 ④ 3年

目標	デッサンの基礎から応用、物を視る力を養い、描写力・表現力を身につける。
内容	卓上デッサンを中心に、1～2週に1枚のペースでデッサン完成。モチーフ(描くもの)を徐々に増やし、人物、風景、静物画にも取り組み、ものの正確な形どり、立体感、質感を表現する力を身につける。基礎課題終了後、美術系進学希望者には、個別課題で対応する予定。
対象	集中力がわり、粘り強く取り組める人、欠席しない人、 美術学校進学希望者は必須
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価を行う。
備考	定員12名。教材費は、3000円程度徴収。

84 生活造形(土に親しむ) ② 3年

目標	主に陶芸制作を行う(変更あり)。土の持つ造形性・重点を置いて、技法・技術を体験し身につける。
内容	手びねりを中心に、陶土を用いた制作を行う。ランブシェードなど。(年間2～3作品の予定)他の素材でも1作品つくる予定
対象	陶芸に興味があり、根気よく取り組める人、体力があり、欠席しない
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員12名×2講座 教材費・・・4000円程度。

85 総合芸術 ② 3年

目標	副題 21世紀に必要なのは柔らかない頭だ 音楽、美術、書道が共有できる世界に遊び、右脳を使う内容の、自由な発想を引き出す。
内容	文字のデザインを研究し、Tシャツをデザインする。楽器の制作と演奏練習により、民族楽器を体験するなど、音楽・美術・書道のコラボレーションを展開する。
対象	芸術全般に興味を持つ人。ジャンルを問わず制作するのが好きな人。
評価	音・美・書それぞれの分野で3人の教科担当者が評価し、その合計平均を評価点とする。 主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。教材費は、3000円程度徴収。
備考	定員20名。教材費・・・3000円程度

86 楽しい書道Ⅲ ② 3年

目標	副題・・・画竜点睛(龍の絵に最後ひとみを入れる) 1・2年で養った創作の力を開花させる。
内容	1学期 … 課題制作の創作 (スプレー・スタンプ・平版・拓・マーキングなどの技法を使いながら) 2学期 … 刻字(文字を彫り彩色する)作品の制作。 3学期 … 自由創作
対象	1・2年で書道関係を受講した人が主体。
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員24名。教材費・・・3000円(用具用材は全て支給します)

87 楽しい書道A ② 3年

目標	副題・・・日進月歩(日につれ月とともに進歩する) 書の基礎から始めて、作品を創作できるようになるまで
内容	1学期 … 漢字を使った作品による創作 2学期 … 漢字仮名交じりの作品による創作 3学期 … 自由創作
対象	今高で初めて書道を取る人のための初心者向き講座。
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員24名。教材費・・・3000円(用具用材は全て支給します)

88 楽しい書道B ② 3年

目標	副題・・・花鳥風月(風流の心をひきおこす自然の風物) 書を身近な表現手段として創作していく。
内容	1学期 … 下地模様と書について研究創作する。 2学期 … 「今高カルタ」を協同制作する。 3学期 … 好きな言葉で作品を創る。
対象	中級者向き。
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員24名。教材費・・・3000円(用具用材は全て支給します)

7.英語・外国語・国際教養 選択科目

71 英文法 ② 3年

目標	入試文法事項の定着。
内容	英文法の入試問題集を使った演習。問題レベルはセンターから難関私立大。
対象	大学への進学希望者で、さらに英文法を学習したい人。英語演習と共ことが望ましい。
評価	定期考査および小テスト、予習、宿題の提出状況など。

72 英語演習 ② 3年

目標	センター入試を中心に、他の一般入試問題の長文に慣れる。
内容	以下のポイントを抑えながら、センターレベルの長文問題を繰り返し行う。 1. 長文に慣れる。 2. 時間配分を考え、長文問題解答のスピードアップ。 3. 内容把握・構文理解・和訳 4. 語整序による英文構造理解。
対象	センター入試を受ける人。長文が出題される私立大学を受験する人。 英文法と共ことが望ましいが、国公立理系で英語の選択を1つしか取れない人は、こちらを選ぶこと。
評価	定期テストおよび小テスト、予習、宿題の提出状況など。

73 映画で英語 ② 3年

目標	映画が英語でわかる＝日常会話がわかる。
内容	集中力が必要で、決して楽な授業ではないが、映画を楽しみながらリスニング力と表現力を身につけます。 ① 単語熟語の聞き取りから始め、「会話のスピード」と「口語表現」に習熟します。歌とスキットも行います。 ② 映画のせりふは、日常会話そのもの。将来、留学したり、仕事に出かけることになれば、この授業で学んだことが役立つでしょう。
対象	英語映画および劇や歌に興味ある人。生きた英語を身につけたい人。休むとストーリーがわからなくなるので、何が何でも休まない人。
評価	テスト、発表、(暗唱)レポート及び授業での積極性で評価する。
備考	定員20名程度 (LLの稼働機械の制限がある)

74 発展読解演習 ② 3年

目標	国公立大学2次試験や私立大学の記述式問題のようなやや難度の高い問題に対応できる力をつける。
内容	* 長文を中心とした上級の問題集を使用。 * 300語～400語程度の英文を読んで、文法・構文・熟語・語彙の力、文章の流れを理解し筆者の言いたいことを把握する力を含めた読解力をつけま す。 * 英文は実際の入試問題から、実力をつけるために上級レベルのものを「文化」「科学」「人生」「物語」「医学」「経済」「家庭」「言語」の多方面にわたって 取り上げていきます。 * 速読だけでなく、必要な場合は精読も行いながら、難しい記述問題にもあたっていきます。 * 当然予習復習は欠かせません。 * 基礎の出来ていない人は、ついていけないので、覚悟の上選択してください。 * 英語演習と重複して選択することは避けたいこと。
対象	私立文系、国公立文系の二次試験で英語が必要な人。
評価	テスト・平常点・授業態度・提出物など。

75 上級英作文 ② 3年

目標	国公立入試に出題される比較的長く難しい英作文ができる力を養う。また自由英作文の取り組み方も学ぶ。
内容	コミュニケーション能力重視の傾向の中、英作文も入試で大きなウェイトを占めるようになってきました。特に国公立の二次試験では和文英訳や、対話文の一部を英語で補うだけでなく、自由英作文も出題されます。 この講座では 1. 入試でよく出る表現を覚える。 2. 日本的発想の日本語を英訳しやすい日本語に置き換える。 3. より自然でこなれた英語に直す。 といった練習、および自由英作文を練習します。 国公立2次の英語小論文問題で要旨要約・自分の意見を英語××語で述べる、という問題も練習します。
対象	難関国公立の二次試験および難関私立の入試で英作文を書かなければならない人。
評価	準考査・課題・小テストなどで行う。
備考	定員15名

76 韓国朝鮮語文化研究 ② 2・3年合同

目標	歴史的にも、地理的にも一番関係の深い隣国の言葉の学習を通して、韓国の文化、社会に触れ、日本と同じアジア文化圏にあることを認識し、バランスの取れた国際理解を深める。
内容	語順など文法は日本語と瓜二つ。英語が苦手なあなたには嬉しい外国語。一見難しそうなるハングル文字も、短期間でマスターできます。嬉しい発見の連続だ！ * ハングル文字を正確に読み書きできるようにする。 * 挨拶や自己紹介などの簡単な会話力をつける。 * 韓国語の基本的な文法を習得し、以降自主学习を続けていけるようにする。 * 韓国の文化芸能生活食事などの紹介もする。
対象	韓国朝鮮語に興味があり、初歩から学びたい人。
評価	授業内の小テスト、課題提出などから総合的に行う。
備考	<u>この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

77 中国語文化研究 ② 2・3年合同

目標	我が国の文化や歴史に大きな影響を与え、今後も交流がますます密になると予想される中国のことばを学ぶ。自分の言いたいことを中国語で伝える基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図れるようにする。
内容	日本語と同様に漢字を用いた言葉だけれど、発音の方法は全然違います。舌を巻いて発音したり、歌うように声の調子を変えたりと、他の言語とは一味もふた味も違う中国語の世界に、熱烈歓迎！！ * 中国語の発音をきれいにできるよう練習…韻母、声母、介母など／声調 * 文法の理解 * 様々な場面での中国語の表現…自己紹介、レストランにて、学校紹介 * 中国の文化、習慣、事情の紹介と理解…挨拶、正月、人口、自然など
対象	中国語に興味があり、初歩から学びたい人。
評価	聞き取りテスト、発音テスト、授業中の発表、宿題等から総合的に判断。
備考	<u>この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

78 イタリア語文化研究 ② 2・3年合同

目標	イタリア語の基礎を学習しながら、イタリアの文化や芸術についての理解を深める。
内容	1. イタリア語を勉強するとよい事があります。英語の語源がわかるのです。 *なぜ、No.1と書き、Nr.1と書かないのか？ イタリア語で数はnumeroです。 *なぜ、fineは「みごとな、完成された」なのか？ イタリア語でfineは「終わり、究極」です。これを知っていると、難しい英単語の意味も覚えやすくなります。 define 終わりをはっきりさせる→「～を限定する、定義する」 finite 終わりがあある→「限定された、有限の」 fine 論争を終わらせる→「罰金」です。 *なぜ、amateurが「愛好家」なのか？ amareは「愛する」という意味です。 *なぜ、annualが「1年の」なのか？ annoは「年」という意味です。 *なぜ、dormitoryが「寮」なのか？ dormireが「眠る」、すなわち dormitoryは「眠る所」です。 *なぜ、parlorが「居間」で、parliamentが「議会」なのか？ どちらもparlare「話す」場所です。 *なぜ、libraryが「図書館」なのか？ libroは「本」という意味です。 2. 楽しく、おいしいイタリア文化に触れることができます。 *イタリアの美術や世界遺産の町をビデオで鑑賞します。 *canzoneを歌ってイタリア語を覚えます。 *実習として難波のイタリア料理店に行き、イタリア人と会話をします。 *イタリアの有名な映画を見ます。人生を学びます。 3. イタリア語はヨーロッパの言語の中で最も学びやすい言語です。 *発音がローマ字読みで簡単。日本語を母語にする人には最適！ *イタリア語は700時間で習得できるとも言われています。 *動詞は6通りに活用しますが、決まっているので音読して覚えれば大丈夫です。
対象	魅力的な科目ですので、受講者の制限は難しいです。 *ペアワークの発音練習をいやからずこられる人、下手でもいいから楽しんでcanzoneを歌える人、英語の語源に興味のある人、イタリア語・イタリアの文化や芸術に興味のある人。
評価	テストおよび授業中の取り組み。
備考	定員は30名 この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。 *定員を超えた場合は、音楽系の学部学科を志望する人、イタリア歌曲の歌詞を研究したい人を優先する。

79 All English Reading ② 3年

目標	日本語を介さずに英語の読解能力を養う。
内容	ネイティブスピーカーとのチームティーチングで、テーマ別の英語の長文(レベルは2年生の英語Ⅱのリーダーの教科書程度)を英語で解釈し、理解していきます。 * 語句の意味、内容把握、意見、感想等、授業は説明も質問も基本的に全て英語で行われます。授業を理解するためには、毎回予習が欠かせません。時々、短いエッセイの宿題も出ます。 * オールイングリッシュの授業では、わからない部分があっても、細部にこだわらず、要点を掴んでいくことが必要で、その訓練は英文読解力の養成に大いに役立ちます。また、英語こどっぷりと浸かることでリスニングの力もつきます
対象	英語の応用力をつけたい人、外大や英文科・国際関係学科を目指している人、将来留学を希望している人等。
評価	中間と期末の準考査のリスニングと筆答のテストを行います。それに予習、宿題提出、授業での発話度等の平常点を加味した総合評価
備考	定員20名。

70 World Studies ② 2・3年合同

目標	世界と自分のつながりに気づき、世界の諸課題に対する関心を高め、国際社会に暮らす「地球市民」としての素養を育てることを目標とします。
内容	・講義よりも体験学習やグループワークを中心に授業を進めます。 ・ワークショップを体験することによりグローバル化の功罪について学びます。 ・日本の国際化について考えるために、日本に暮らす外国人の問題についても考えます。 ・国際協力について学ぶために、国際的な活動をしているNGOや、国際協力を学んでいる大学生との交流も計画しています。
対象	国際関係系の学部や学科に進学を希望する人。将来、国際協力に関わる仕事をしたいと思っている人。国際関係に興味のある人。
評価	定期考査は実施しません。出席状況や授業への取り組み姿勢、レポート・課題などの提出物などで評価します。時間帯は、午後の2時間連続
備考	定員は20名程度。 <u>この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

8.家庭 選択科目

81 リビングデザイン ② 3年

目標	1.生活と住居、住居の設計、インテリアなどに関する知識と技術を習得し、快適な住空間をデザインする能力と態度を育てる。 2.住生活と環境について考えさせる。
内容	1.家族の生活と住意識や住要求とのかかわり、健康で安全な室内環境の条件について考察する。 2.住居の平面計画やインテリアのデザインについて考察と実習。
対象	住居やインテリアに興味がある者。
評価	定期考査、授業・実習への取り組み、提出課題、出席状況などを評価する。
備考	定員21名。 実習費として1500円程度徴収する。

82 服飾と手芸 ② 3年

目標	1.各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を製作することで、快適で豊かな生活について考えさせる。
内容	実習:バッグ、ポーチ、巾着袋、ブックカバー、パッチワーク、マスコットその他の手芸。
対象	手芸に興味がある者。ファッション関係の進路を希望する者。
評価	実習への取り組み、提出課題、出席状況などを評価する。
備考	定員21名、実習費として、3000円程度徴収する。 2年生の時に「服飾と手芸」を選択した人は選択できない。

83 フードデザイン ② 3年

目標	1.自分や家族の健康を考え、食品の選択や食事の準備ができる能力を養う。 2.食生活と環境について考えさせる。
内容	1.栄養・食品・調理・料理様式と献立テーブルコーディネート各項目についての知識を深める。 2.最後に食に関する課題研究を行う。 3.実習:食生活に関する実験、加工品を作る。
対象	食生活に興味があり、好き嫌いが少ない者。食物関係の進路を希望する者。実習費として5000円程度徴収する。
評価	定期考査、実技試験、授業・実習への取り組み、提出課題、出席状況などを評価する。
備考	定員24名

9.情報 選択科目

91 アルゴリズム ② 3年

目標	コンピュータ制御を学習する
内容	現代では様々な機器がコンピュータによって動いている。その動作は、どのように制御されているのかを考え、フローチャートを作り、自分が思うままに動かしてみる。 台車型ロボットを中心に、様々なロボットを用いていく予定。
対象	様々な機器を、コンピュータを使って動かしてみたい人。
評価	実習の取り組み、提出課題、理解の程度などを評価する。
備考	定員 20名以下。

10.生命科学・工学 選択科目

92 看護福祉 ② 2・3年合同

目標	生命と健康の価値を実感し、社会で不可欠とされる看護福祉の現状と基礎的知識を学ぶ。自己の日常生活を振り返り、Quality of Life について考え、進路を決定する際の糧とする。
内容	自己、或いは自己を取り巻く社会全体の心身の健康を維持する大切さ、システム、方法論を学ぶ。 体験的学習を通して、各職種の社会的役割、存在意義をイメージし、自己の適性について、考える機会とする。
対象	保育、看護、医療、福祉等の進路を目標とする人。
評価	授業の取り組み、理解の度合い、レポートなど。

93 カウンセリング入門 ② 2・3年合同

目標	まず自己理解を進め、その上で他者を理解し、より良い人間関係を築くためのスキルを学びます。最終的に、自他に対するカウンセリング能力を身につけることを目標とします。
内容	・講義よりも対人関係ゲームやペアワーク、グループワークを中心としたアクティビティからなる参加型授業です。 ・様々なアクティビティを通して、自分の思考と行動のパターンに気づき、不合理な考え方があればどう改善すればよいか考えます。 ・「さわやかな自己主張」ができるコミュニケーション能力のトレーニングをします。 ・話を聴く技術を身につけます。 ・授業後、「元氣になれたな」と感じるこのできる時間になることを目指します。
対象	系列について特に制約はありませんが、心理・福祉・教育・医療関係系の学部や学科に進学を希望する人。
評価	定期考査は実施しません。出席状況や授業への取り組み姿勢、レポート・課題などの提出物などで評価します。
備考	定員は20名 時間帯は、午後の2時間連続。講師の都合により、開講できない場合があります

94 点字入門 ② 3年

目標	点字の基本的なルールを学びながら、点字を学ぶことの楽しさを実感する。終了時に、特技の欄に「点字」と書けることを目標とする。 できれば、短い読み物の点訳にも挑戦する。
内容	日本語点字の学習(主に読みを中心に) 点字の読み書きの学習 コンピュータを使った点字入力の学習 短い読み物を点訳(「もし世界が100人の村だったら」「絵本」など) (点字図書館や盲学校などに寄贈も考慮に入れる)
対象	ボランティア活動などに興味があり、何らかの形で関わりたいと考えている生徒
評価	テスト・授業態度・出席状況・点訳の仕上がりに具合
備考	定員 20名程度。 継続履修可(継続履修者は初心者への指導を行うつもりで履修してください)

95 生命科学 ② 3年

以下の7つを『生命科学』とし、前期から1科目、後期から1科目を選択する

01 (前)スポーツ心理学

目標	楽しみながら人を育み、生活を豊かにするスポーツについて、心理学の視点から理解を深める。 スポーツを通じて人間まどのように変わるのか。どうすると上達するのか。思うようにいかない時、どうしたらよいかを考える。
内容	スポーツの心理的特質 運動技術の学習 勝利達成条件 メンタルトレーニング スポーツと不応行動 スポーツ観戦の心理 など
対象	スポーツマン、スポーツファン、体育スポーツ系大学進学希望者
評価	授業の取り組み、理解の度合い、レポートなど

02 (前)自然史探究

目標	地球の誕生から現在までの45億年間の地球の歴史について、野外観察も交えながら、実験実習観察を中心に学びます。さらに日本の数々の風景美をつくる大地の営みにも触れ、地球を愛する心を育みます。 ※ VTR学習や岩石・化石を使った実験や観察、地図を使った実習、野外観察や博物館の見学なども行います。
内容	地球の歴史と変遷 ・地球の誕生、大気や海洋、大陸の起源と変遷 ・古生代・中生代・新生代の古生物や恐竜の絶滅など ・博物館や都市のビル壁に見られる化石見学 ・地球環境の変遷と未来について 地球の変動と自然の景観 ・地震、活断層、火山など、地球の変動 ・大陸移動とプレートテクトニクス ・鉱物や岩石の実習と岩石が造る様々な自然の景観(風景美) ・日本アルプスの自然、日本列島の生い立ちと進化など
対象	系列は問いませんが、自然に興味、関心のある生徒。
評価	実験や実習のレポート、小論文、実験や実習に対する意欲等。
備考	20人程度までに限ります。

03 (前)カイロプラクティック

目標	カイロプラクティックを学び、スポーツ(日常生活)障害の予防と回復に役立てる。
内容	講義・実技を通して理論と施術法を習得する。 (1)カイロプラクティックの歴史 (2)基礎的な解剖生理学 ①臓器・骨格・筋肉の名称を理解 ②神経・循環器のはたらきを理解 (3)カイロプラクティック施術法の習得(実技) ①ストレッチング(障害の予防) 首・肩・腰・足 ②各種検査法(異常を確かめる) 姿勢・首・肩・腰 ③各種施術法(障害の回復) 寛骨・腰椎・胸椎
対象	①3年生でカイロプラクティックに興味・関心があり、授業に積極的に取り組む生徒 ②将来、看護師・理学療法士・物理療法士・スポーツトレーナー等を目指している人。
評価	授業の成果を次の点で評価する。 ①授業の出席、授業態度 ②小テスト(レポート) ③実技テスト
備考	継続履修不可。 定員20名。

04 (後)バリアフリー・ライフスタイル論

目標	人権・福祉・ボランティア活動について実習・体験を通じて学ぶ。
内容	前半は障害者問題を中心に、後半は高齢者問題を中心に扱う。 「健常者」と「障害者」の共生をテーマに、お互いが幸せに生きるには何が大切かを学ぶ。障害者福祉や老人福祉・児童福祉など福祉と人権のかかわりについても考える。また障害者施設や作業所などを訪問して福祉の現場を体験する授業やハンディキャップのある人たちと交流し、互いに意見交換や討論をする授業も行う。「心のバリアフリー」について学び、人との接し方・そのための技能も学習する。授業のコーディネーターとして奈佐誠司氏(車椅子ダンサー)をお迎えし(車椅子ダンスに挑戦!!)、 バリアフリーに向けてできるだけ体験型の授業を行い、今までの社会福祉に対する考え方を考える取り組みを行う。
対象	社会福祉・ボランティア活動に関心のある生徒。
評価	出席・レポート・ノート提出・意見発表 など。
備考	定員20名程度

05 (後)医薬学入門

目標	疾病の治療や予防を対象とする学問である医学や薬学のあらましを知る。また最先端の医療技術にも触れ、医学や薬学の将来について考える。また生命倫理についても扱い、人類の福祉に貢献できる態度を育てる。
内容	・病院から講師の先生にお越しただいて講義を進める。 ・予想される内容は次のようなものである。 様々な疾病の成り立ちと回復の過程 感染と免疫病原微生物 薬の効能と副作用 健康保険制度について 最近の話題、最先端の医療技術 など
対象	医学薬学医療技術系に興味ある人。その方面の進学を希望する人に限らず人体や病気のことに関心のある人は、選択してほしい。 スポーツ関連企業就職希望者
評価	授業の取り組み、理解の度合い、レポートなど
備考	講師の都合により、開講できない場合があります。定員20名程度

06 (後)人間の科学

目標	人体の生理と構造の学習を通し、生命科学の抱える問題点を考えることから命の尊さを知り、よりよく生きることを目指す。
内容	「身体を知る」というテーマで、人体の構造と生理について、 主に次のような内容について実験、実習を行いながら学習する。 ・骨格系と筋肉 ・生命を保つ器官として循環器系・消化器系・排出器系について ・認知心理学を中心に脳・神経系について
対象	人体に興味を持っている生徒 人体から社会を考えたい生徒。
評価	提出物、小論文等、小テスト
備考	定員20名程度

07 (後)生物工学

目標	今日、脚光を浴びているバイオテクノロジーについて、その目的と有効性を学ぶ。また、現在行われている研究や研究の具体的な方法も学ぶ。そしてバイテクが環境や将来の社会に与える役割について考え、その多様性について学ぶ。
内容	・微生物の様々な利用方法 ・発酵食品、環境浄化における利用 ・遺伝子操作の方法 ・どのようにして遺伝子は組み換わるか、また組み換えるか。 ・クローンや遺伝子組み換え作物について ・生物資源(バイオマス)の有効利用 ・最近の話題・特に医薬品の開発において、どのようなところでバイオテクノロジーが使用されているか。
対象	バイオテクノロジーに興味ある人。農学部や応用生物、生物工学を希望する人。先端技術に興味のある人も選択してほしい。
評価	授業の取り組み、理解の度合い、レポートなど。
備考	講師の都合により、開講できない場合があります。定員20名程度